

令和7年度

代田陶芸教室 年間カリキュラム 研究科

午前10:30~12:30

午後13:30~15:30

	金曜日	制作内容	粘土	土量 kg	技法	個数	備考
①	4/11	面取り作品	信楽赤K	1.2	ひも作り	1~2	厚めに作り、切り糸でそぎ落として模様にする
②	4/25	古信楽作品	古信楽	1	ひも作り	1	花入れや、鉢など「土灰釉」を掛けて「還元焼成」する作品を作る
③	5/9	象嵌作品	五斗蒔黄土	1	自由	1	成形後に竹串などで線刻する 素焼後に白化粧を埋め込み模様にする
④	5/23	白化粧作品	五斗蒔黄土	1	自由	1~2	成形後に白化粧で加飾する (刷毛目・指描き・布目)
⑤	6/13	施釉:①②③	—	—	—	—	施釉:①面取り作品 ②古信楽作品 ③象嵌作品
⑥	6/27	蕎麦猪口	信楽白	1	板作り	2	粘土を5mmに伸ばし、型で成形
⑦	7/11	自由制作	信楽白	1	自由	1~2	これまでの技法を使って自由に作る
⑧	7/25	備前灰釉作品	備前	1	自由	1~2	自由な形で制作する 素焼き後に灰釉を掛ける(還元焼成)
⑨	8/8	施釉:④⑥⑦	—	—	—	—	施釉:④白化粧作品 ⑥蕎麦猪口 ⑦自由制作
⑩	8/22	透かし彫作品	信楽白	1	自由	1	成形後に針などで模様をくり抜く ランプシェードや菓子鉢など
⑪	9/12	施釉:⑧ 制作:掻き落とし	五斗蒔白土	1	自由	1	施釉:⑧備前灰釉作品 制作:次回模様を施す作品を成形する
⑫	9/26	掻き落とし作品 (仕上げ)	—	—	—	—	仕上げ:⑪に化粧土を塗り、模様を 削り出す
⑬	10/10	鉄絵作品	五斗蒔黄土	1	自由	1	素焼き後に「弁柄」で絵付けをする ための作品を作る
⑭	10/24	施釉:⑩⑪ 制作:自由制作	— 信楽白	— 0.5	— 自由	—	施釉:⑩透かし彫 ⑪掻き落とし作品 制作:白土で自由に制作する
⑮	11/14	練り込み作品	五斗蒔白 五斗蒔黄	0.8 0.2	板作り	1~2	白土に赤土を貼り付けて模様にする
⑯	11/28	レリーフ作品	信楽白	1	自由	1	板や紐作りした作品に凹凸模様を施す 壁に掛ける「穴」を作る
⑰	12/12	施釉:⑬⑭⑮	—	—	—	—	施釉:⑬鉄絵作品 ⑭自由制作 ⑮練り込み作品
⑱	12/26	絵付け作品	信楽白	1	自由	1	素焼き後に「呉須」などで絵付けをする ための作品を作る
⑲	1/9	自由制作	信楽白	1	自由	1~2	これまでの技法を使って自由に作る
⑳	1/23	織部風 板作り鉢	信楽白	1.2	板作り	1	本科「角鉢」の応用 織部風の鉢を板作りで制作する
㉑	2/6	くりぬき <small>とうばこ</small> 陶管	信楽白	1	くりぬき	1	「くりぬき」技法(本科・土鈴)の 応用で、ふたものを作る
㉒	2/20	施釉:⑯⑱	—	—	—	—	施釉:⑯レリーフ作品 ⑱絵付け作品 ⑲自由制作
㉓	3/6	施釉:⑳㉑ 懇親会	—	—	—	—	施釉:⑳織部風板作り鉢 ㉑くりぬき陶管